

## 令和元年度医師のための在宅医療セミナー アンケート集計結果

開催日時 : 令和2年(2020年)1月21日(火) 19:30～21:30  
場 所 : 横須賀市生涯学習センター 第1学習室  
申込者数 : 94人  
(医師19人、看護師6人、事務職4人、MSW1人、訪問看護師0人、その他64人)  
参加者数 : 86人  
(医師16人、看護師5人、事務職4人、MSW1人、その他59人)  
回収数 : 76人(回収率88.4%)

### Q1. あなたの職種・勤務先を教えてください。

#### 1) 職種

	回 答	件数	割合
1	医師	11	14.5%
2	看護師	5	6.6%
3	事務	4	5.3%
4	MSW	1	1.3%
5	訪問看護師	1	1.3%
6	その他	54	71.1%
	未回答	0	0.0%
	合計	76	100.0%

#### Q1-1) 6. その他職種

回 答	件数
ケアマネジャー	31
薬剤師	7
ヘルパー	3
消防	1
司法書士	1
臨床検査技師	2
社会福祉士	1
未回答	8
合計	54

#### 2) 勤務先

	回 答	件数	割合
1	診療所	13	17.1%
2	病院	12	15.8%
3	訪問看護ステーション	1	1.3%
4	その他	48	63.2%
	未回答	2	2.6%
	合計	76	100.0%

#### Q1-2) 4. その他勤務先

回 答	件数
居宅介護支援事業所	28
老人ホーム・居宅介護支援事業所	1
薬局	7
訪問介護事業所	1
ヘルパーステーション	2
消防	1
司法書士事務所	1
地域包括支援センター	1
未回答	6
合計	48

Q 2. 今日のセミナーの内容をご理解いただけましたか？

1) セミナー内容はご理解できましたか。

回 答		件数	割合
1	よく理解できた	32	42.1%
2	まあ理解できた	35	46.1%
3	あまり理解できなかった	2	2.6%
4	理解できなかった	0	0.0%
	未回答	7	9.2%
合 計		76	100.0%

2) 業務に活用できると思いますか。

回 答		件数	割合
1	とても活用できる	16	21.1%
2	まあ活用できる	35	46.1%
3	あまり活用できない	18	23.7%
4	活用できない	0	0.0%
	未回答	7	9.2%
合 計		76	100.0%

Q 3. 高齢化の進展に伴い、かかりつけ医に求められる対応も増えることが予測されま

1) かかりつけ医は、どのような対応がますます必要となってくると思いますか？（より必要と思う点（最大3つ）に○をつけてください）

回 答		件数	割合
1	地域包括支援センター等、地域関係機関との連携	38	18.9%
2	医師以外の医療職、介護職との連携	61	30.3%
3	在宅医療への対応	48	23.9%
4	患者家族への関わり	40	19.9%
5	人生会議（ACP）の取り組み	13	6.5%
6	その他	1	0.5%
合 計		201	100.0%

Q 3－1) 6. その他の記述

--

2) かかりつけ医に対して、どのような情報や場の提供等、支援が必要だと思いますか？（より必要と思う点（最大3つ）に○をつけてください）

回 答		件数	割合
1	関連する医療情報の提供（例 認知症の早期診断、在宅医療での処置に関する情報）	50	26.7%
2	地域の医療・介護資源、関係機関の情報提供	52	27.8%
3	専門医との連携づくりの場	24	12.8%
4	医療・介護の多職種との連携づくりの場	60	32.1%
5	特になし	0	0.0%
6	その他	1	0.5%
合 計		187	100.0%

Q 3－2) 6. その他の記述

<p>かかりつけ医(訪問診療)からの報告書がいつも遅い。 8月の診察を来年1月にFAXでまとめて出してくるので困る。</p>
--

Q 4. 横須賀市では、在宅療養を選択できるまちづくりを進めるための取り組みを推進しています。

1) 在宅医療に取り組む診療所を増やすにはどんなことが必要だと考えますか。  
(より必要と思う点(最大3つ)に○をつけてください)

	回 答	件数	割合
1	診療所同士の協力体制	36	22.6%
2	訪問看護師など多職種との連携	47	29.6%
3	医師対象の研修等の実施	24	15.1%
4	病院と診療所との連携	48	30.2%
5	その他	4	2.5%
	合計	159	100.0%

Q 4-1) 5. その他の記述

・ケアマネ、介護職との医師との連携
・②の多職種ではケアマネジャーを強調したい。
・対象者、市民の理解
・在宅療養を行っていることの宣伝、広報、周知
・IT(ないしICT)の利用、〈クラウドデータの共有、活用含〉

2) 診療所・病院に勤務されている方に伺います。(職種問わず)  
現在、在宅医療に取り組まれているいらっしゃいますか。

	回 答	件数	割合
1	他からの紹介患者も受けて積極的に取り組んでいる	14	18.4%
2	かかりつけの患者のみ行っている	7	9.2%
3	近い将来、取り組むことを検討している	0	0.0%
4	条件が整えば取り組んでもよい	2	2.6%
5	これからも取り組む予定はない	1	1.3%
6	その他	0	0.0%
	未回答	52	68.4%
	合計	76	100.0%

Q 4-2) 6. その他の記述

・今後、かかりつけ以外も対象とする予定
---------------------

Q 5. 横須賀市の取り組みとして、市内を4地区に分けて、地区ごとに診療所医師など、在宅医を中心としたネットワークづくりをすすめる「在宅医療ブロック会議」を設

1) 在宅医療ブロック会議を知っていますか。

	回 答	件数	割合
1	知っており、参加したこともある	34	44.7%
2	知っているが、参加したことはない	19	25.0%
3	知らない	16	21.1%
	未回答	7	9.2%
	合計	76	100.0%

2) 在宅医療ブロック会議で実施・企画している次のような取り組みで、ご興味のあるものは何ですか。（複数回答可）

回 答		件数	割合
1	地域内における在宅医療を行う診療所どうしの協力・連携体制づくり	30	24.0%
2	在宅医の相互学習会（意見交換・情報交換・症例検討会など）	23	18.4%
3	新規に在宅医療を始める医師へのノウハウ伝授企画	10	8.0%
4	病院と診療所の連携体制づくり	31	24.8%
5	地区内の多職種連携を深めるための研修会など	31	24.8%
6	その他	0	0.0%
合計		125	100.0%

Q 6. 今後、話を聞いてみたい疾患や分野などございましたらお書きください。

・ガン末期
・在宅医とケアマネの交流
・看取り在宅医の死亡判断基準の説明。死亡が近いときの状態とは？
・在宅でのパーキンソン疾患に対するケアについて。 独居の方で、どの状態で独居生活が可能か。在宅での留意すべき事項の研修等 お願いしたい。
・在宅死が多いといわれているが、質はどうか。看取りの経験のある家族から「～ことはしてほしくなかった」様な良くなかったことを話してもらいたい。 数をこなせば良いわけではなく、質が問われている。
・地域のニーズに応える介護予防
・ACP

Q 7. 本日のセミナーや在宅医療についてご意見・ご感想など自由にお書きください。

・在宅医が沢山参加できる多職種連携の学習
・とてもおもしろい話でした。とても有意義だったと思います。「死」についていろいろな取り組みがあると思いました。
・先生に話を聞きづらい。先生によって聞けることが違う。時間がない様子。始まる時間を早くして欲しい。
・自分の住まいの警察の実情がわかった。
・分かりやすく興味深い話が聞けてよかった。
・本日はどうもありがとうございました。お疲れ様でした。今後は終了時間をしっかりと決めておいていただけると非常にありがたいです。参加しやすいのでよろしくお願いいたします。
・なかなか聴く機会が無い内容だったので、とても興味深く聴きやすかったです。ありがとうございました。
・貴重な話でしたが、具体的な事例をいくつか紹介して頂けたら良いと思いました。
・もう少しくわしい話が聞けるのかと思っていたので少し残念でした。質問でやっと少し聞けて良かったです。
・人の死の、角度の違うところからの話を聞くことができ、勉強になりました。ありがとうございました。
・検視の仕事や現状がわかりよかった。
・様々なお話が伺えて良かったです。
・ありがとうございました。勉強になりました。
・ケアマネなので検視はあまり関わりがないかと思いましたが、入浴中の死亡事故が多いと知って、在宅での入浴支援に対する考えが変わりました。ありがとうございました。
・実際に検視官の方から話を聞く機会ができて、本当に色々と勉強になりました。
・知らない分野の話が聞けて良かったです。
・亡くなって警察が入らないように、在宅医を入れるような事も話にあがりますが、全てがそうではないのだと思いました。とてもわかりやすい内容でしたが、実際に関わる方には、地域の目も必要だと思いますので、孤独にならないように声をかけたいと思います。
・今まで聞けなかったお話が聞けて良かったです。
・大変興味深かったです。
・死亡確認書を交付した後の警察の対応が知りたくて参加致しました。先生の話が分かりやすく、理解することができました。ありがとうございました。
・検視になると大変だという事はよくわかりました。定期受診がうけられるような体制を整える事が検視の件数をへらせると思いました。
・警察の方の話を聞くことができ、参考になりました。質問に対する答え、とても参考になりました。現実がわかった。
・勉強になりました。